

月刊 はあとふるあたご

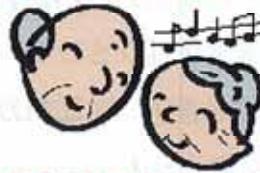
1月 第17号

<発行>平成19年1月1日

<発行元>〒951-8051 新潟市新島町通三の町2284番地 <発行者>木村 淳

株式会社 はあとふるあたご

電話 025(228)5000(代) FAX 025(228)4000



「花びん」(アンデルセン手芸)

デイサービスセンター坂井東 お客様 貢 忠夫様

目次

経営理念	2	シリーズ 私の自慢	8
年頭のごあいさつ	2	伊東先生のコラム 第17回	11
事業所だより	3	ふるさと散歩	12
職員紹介	5	編集後記	12

株式会社はあとふるあたご

＜経営理念＞

わたしたち はあとふるあたご は、
『“人”を一番大切にします』
これが、わたしたち はあとふるあたご の基本理念です。
すべての社員が
はあとふるあたご で働くことに幸せを感じます。
わたしたちが幸せに働けるのは、
私たちを必要としてくれるお客様がいらっしゃるからです。

年頭のごあいさつ

新年、明けましておめでとうございます。新春を迎え平素のご厚情を深謝し皆々様のご多幸をお祈り申し上げます。

皆様のお力添えのおかげで、弊社は現在新潟県内14拠点でサービスを提供させていただいております。

昨年は新しい取り組みとして、デイサービスセンター、ショートステイにおいて選べる食事を導入いたしました。あらかじめ決められた食事を食べていただくのではなく、センターに到着されてから、その日の気分や体調に合わせてお食事をお選びいただきたいという思いからです。

また、アロマテラピー・リフレクソロジー、健康支援体操、音楽療法など、日替わりでご提供する付加価値サービスの充実にも力を入れました。

本年もよりいっそう地域に根ざし、お客様の視点でサービスを捉え、質を高めていけるよう、職員一同努力してまいりますので、変わらぬご愛顧の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

株式会社はあとふるあたご 代表取締役 木村 淳

グループホーム五泉

紅葉見ごろの11月19、23、25日の三日間、旧新津市にある新潟県立植物園へ出かけました。

天候にも恵まれ、道中の金津峠も見事な紅葉で、「綺麗だね」と皆様に季節の移り変わりを感じていただくことができました。

園内では、男性のお客様は植木に興味を持たれ、熱心にご覧になられる姿や、時節がらクリスマスツリーのイルミネーションに歓声を上げられるお客様もいらっしゃいました。

ご家族様の参加もあって、お客様にとっても、私たちスタッフにとっても心和やかな1日になったと思います。

東長泉一グループホーム五泉

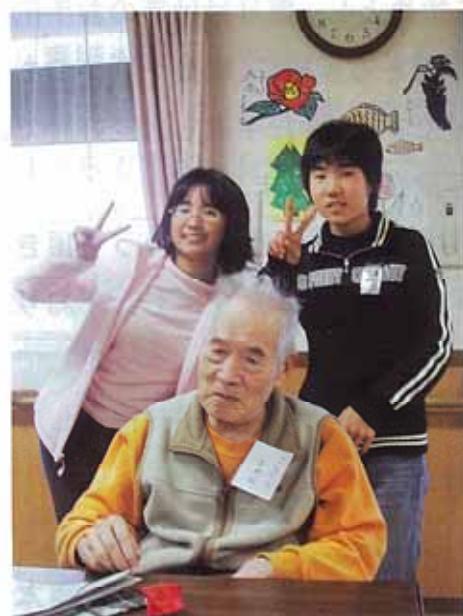
大川原 祐美

電話 0250-41-1610 FAX 0250-41-1611

グループホーム三条

★楽しいひと時

私共のホームでは、近隣の上林小学校6年生の皆様が、定期的に訪問されています。授業の一環ということも有りますが、お客様にとってはお孫さんやひ孫さんくらいの明るい来客者に、毎回笑顔が絶えません。



最初こそはお互いにギクシャクされていらっしゃいましたが、時間が経つにつれて、そして訪問の回数が増えるにつれて自然な感じでコミュニケーションが取れてきたような感じがします。

お客様だけでなく、スタッフもあふれる若いパワーをいただいています。

人と人が接する時の温かさを大事にして、これからもお客様と地元の皆様の橋渡しとして、努力して行きたいと思います。

グループホーム三条

難波 淳

電話 0256-36-5555 FAX 0256-36-5556

「居宅介護支援センター」

★ケアマネジャー（介護支援専門員）の資格が更新制になりました。

具体的には、5年ごとに更新を行います。またその更新の際には、必要に応じて研修を受けなければならなくなりました。これはケアマネジャーの専門職としての知識や技術の向上が、介護サービスの質を向上させると考えられたからなのです。

今日、私たちケアマネジャーに寄せられる相談内容も複雑になっており、お客様の要求も多様化し、解決方法もさまざまになってきております。このような状況の中で、それにきちんと対応していくためには専門性に裏付けられたものが求められるのは当たり前のことなのかもしれません。



ご自身の担当のケアマネジャーはあなたにどのように関わってくれていますか。

在宅生活のよき相談相手になっているでしょうか。

居宅介護支援センター坂井東

阿部 充子

電話 025-268-8886 FAX 025-268-8887

デイサービスセンターさかえ

日に日に寒さが厳しく感じられ、雪の舞う日が増えてきておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

私共デイサービスセンターさかえでは、お客様とともに9月末にセンターの畠で収穫し、秋晴れの日に天日干しにした里芋をつかって、去る11月24日～26日の3日間に「芋煮会」を行



いました。皮むきを始めとし、盛り付け等のお手伝いを手際よくしてくださる皆様に、職員一同いつも教えて頂く事ばかりです。できた芋煮も大変好評で、会話も弾み楽しい芋煮会となりました。

私共はお客様にお料理で季節感を味わって頂きたく、手作りの行事食を毎月考え、お出ししております。“みんなで作って食べる楽しさ”を実感してみたい方は是非お越し下さい！心よりお待ちしております。

デイサービスセンターさかえ

伊藤 勇太

電話 0256-45-7735 FAX 0256-45-7739

デイサービスセンター城北町

私共デイサービスセンター城北町では、去る11月16日、17日、18日の3日間、県立紫雲寺記念公園内にある『新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里』に、出掛けてきました。

館内には、ブナ林のジオラマがあり、ボタンを押すと夜明けの情景と、ブナ林を代表する鳥たちの美しいさえずりを聞くことができます。また、野鳥の剥製や鳥の卵が展示されており、「カワセミって、きれいな鳥だね。」「昔は、家の庭にもキジがいたよ。」など、様々な声がきかれました。



お客様をはじめ、職員も自然に触れ合いながら、とても穏やかな時間を過ごすことができました。また、これから寒い冬に向かっていきますが、今後もお客様に楽しんでいただけるような色々な行事を提供していきたいと思っております。

デイサービスセンター城北町

小泉 美咲

電話 0254-21-3330 FAX 0254-21-3335

職員紹介 No. 16

総務部 古野間 信介

皆様、はじめまして。

私は「はあとふるあたご」に入社して3年目になります。訪問介護ステーション勤務の後、総務部へ異動しました。総務の仕事は多岐に渡りますが、スタッフがお客様一人ひとりの生活にじっくりと向き合えるよう裏方としてバックアップしていくという非常に重要な仕事だと感じます。



まだまだ未熟で自分の力不足を痛感する毎日ですが、頼れる総務マンを目指し、多くの経験を重ねていきたいと思っています。

お客様の前に出る機会は多くありませんが、見かけた際は気軽にお声掛け下さい。これからも、どうぞよろしくお願ひします。

通いなれたデイサービスで、気心知れたスタッフと！！住める！泊まる！！ デイサービスセンター水原・ショートステイ水原

12月に入り、寒さもますます厳しくなってまいりました。水原では12月はクリスマスという事で手作りのクリスマスツリーにお客様とかざりつけをしました。

色とりどりのリボンやサンタのかざりを見て、「もうクリスマスの時期なのね」と皆さんは真剣に飾りつけをしていました。その他、紙にティッシュを丸め貼り付け、大きな可愛らしい雪だるまを作ったりすると、部屋中クリスマスの雰囲気が出て「あとはサンタのプレゼントを待つだけね。」とクリスマスを心待ちにしているご様子でした。



デイサービスセンター水原・ショートステイ水原 肥田野 由香里

電話 0250-62-8888(デイ)

0250-62-8886(ショート)

FAX 0250-62-8887(デイ・ショート共通)

グループホーム新津

紅葉の色づく季節になり、職員宅の柿の実が赤くなったので、青空の日にお客様と一緒に柿を採りに行きました。

その採ってきた柿を皆様、せっせと手際よく作業され、その日のうちにホームの窓際に干し、数多い干し柿作りを終えることができました。

その後も皆様の間で「何日後の、この位が食べごろだわね。」との話が出たりして、柿の話題で話が盛り上がっていました。



後日お客様の「もうそろそろ甘くなったと思うよ」のお声で、その日のおやつにいただきましたが、愛情のこもった手作りの干し柿は、甘くとっても美味しかったです。そしてまた来年もつくっていただくようお願いしました。

楽しみにしています。

グループホーム新津

木根渕 幸子

電話 0250-21-2888 FAX 0250-21-2889

デイサービスセンター柳都大橋

この度、国際ペットワールド専門学校ネイチャーアクアリウム学科の授業の一環として、私共のデイサービスセンターに水槽を置いて頂けることになり、このたび設置されました。

水槽の中には、白いメダカや、小さいエビやタニシなどがいて、魚たちは生き生きと泳いでいます。

完成後はお客様も水槽の周りに集まり、「きれいだねえ」「かわいいねえ。ほら、動いた！元気がいいねえ。」といつまでも眺めていらっしゃいました。



センターではお客様にエサやりをお願いしています。エサやりをすることで、お客様も鑑賞するだけでなく、育てる楽しさや責任感を感じていただけるようで、とてもかわいがっていらっしゃいます。

自然と笑顔になり癒される空間ができ、皆様、大変喜んで下さっています。

お客様と一緒にこれからも大切に育てていきたいと思います。

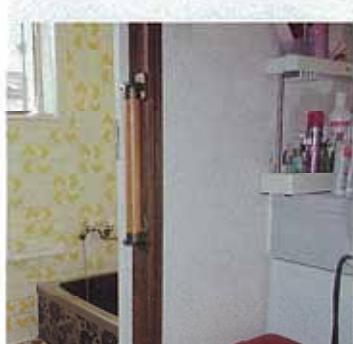
デイサービスセンター柳都大橋

小林 恵

電話 025-228-5010 FAX 025-228-3335

福祉用具事業部

冬本番となり、寒さが身に堪えますね。今回の住宅改修のご提案は、「脱衣場」についてです。浴室への出入り口には、段差があるご家庭が多く「安心してつかまれる場所」は意外と無いものです。手を掛ける場所は、柱や、洗濯機などで、「つかまる」より「手で触っている」という感じではないですか。「触っている」より「にぎっている」の方がより安全で安心できます。



柱の角に手すりを。

邪魔にもなりにくいです。

でも狭いスペースに手すりを付けて「じゃまになるのでは」と思われるがちです。そこで、柱の角に取り付ける方法があります。

このように手すりを取り付ける事により、安心して出入りができる、狭いスペースでも、じゃまにならないません。わずか1本の手すりですが、「これがあって良かった」と思っていただけるはずです。

私共では、手すり1本でも喜んでご相談に応じます。親切丁寧で安全をご提供させて頂きますので、お気軽にご連絡ください。

次回は「浴室内の手すり」についてご紹介いたします。

お問い合わせは 福祉用具事業部 柳都大橋 025-228-5002

新発田 0254-23-1173

上越 025-531-0688

デイサービスセンター坂井東

★プロ顔まけ アコーディオン演奏会

私共のセンターでは10月に2回、黒崎のぶどう園「利樹園」へ外出レクをしました。そのとき、とても素敵な音色でアコーディオンを弾いてくれた方が「利樹園」の社長、今井さんでした。早速のボランティア交渉の結果、今回アコーディオン演奏会の開催の運びとなりました。



曲目が軍歌「同期の桜」「麦と兵隊」から、終戦後流行した「リンゴの歌」「東京のバスガール」「東京だよおっかさん」「ちゃんちきおけさ」「青い山脈」と十数曲も楽譜も見ずに、プロ顔まけの演奏いただき、軽快なお話もあり楽しく時間が過ぎていきました。

最後に、お客様からのリクエストにも楽譜無しで演奏され、全員で合唱いたしました。お客様からのご要望も多く、次回のボランティアの約束もしていただくことができました。

皆さん、来年はぜひ黒崎の「利樹園」へぶどう狩りにおいて下さい。9月、10月にはたべごろのとても甘いぶどうが一面に実っています。

デイサービスセンター坂井東

桑原 秋弘

電話 025-268-8880 FAX 025-268-8887

シリーズ 「私の自慢」 No. 17

「アンデルセン手芸」

デイサービスセンター坂井東 お客様 貫 忠夫様

今回はデイサービスセンター坂井東から貫忠夫様をご紹介いたします。

お正月用に作って下さった作品がすばらしかったので今月号の表紙にさせていただきました。

花瓶をひとつ作り上げるのに2日もかかるとのことです。作り方は、広告を細く丸めたものを重ね合わせ形をつくり、特別な塗料を塗って出来あがります。

花瓶の横に添えてある造花や飾りは、花屋で選んできたとの事でした。写真撮影にも協力いただき、背景にあった色の布を持参いただきました。

常に「真剣勝負」の心意気が伝わってきました。これからもすばらしい作品楽しみにしております。



デイサービスセンター松浜

先日、デイサービスセンター松浜では、「好踊会」の皆様がボランティアとして来て下さいました。

色鮮やかな衣装を身にまとわれた皆様の優雅で艶やかな踊りに、お客様も職員も只々見とれるばかりでした。お客様の中には、昔、踊りをされていたという方が大勢いらっしゃり、口々に「やっぱり、踊りはいいねえ」「また、踊りたくなったわ」等と話されておりました。

「好踊会」の皆様はご近所にお住まいのため、顔見知りのお客様もたくさんいらっしゃいました。私達は、地域の皆様に支えられているという事を改めて感謝し、今後も皆様に愛されるデイサービスセンターを目指して参ります。



デイサービスセンター松浜

石崎 徳幸

電話 025-255-7701 FAX 025-225-7705

訪問看護ステーション柳都大橋

★ 「長生き」についてのお話。

敬老の日は、いかがお過ごしましたか。

日本人の平均寿命は、男性が78.4歳、女性が85.3歳といいますから、それ以上は「長寿」ということになるでしょうか。

長生きのコツは長生きの人から聞くのが一番だと思いますが、きんさん・ぎんさんは「長生きしていることが長生きのコツじゃよ」と言ったとか言わないとか。

看護の面からでは、「バランスの良い食事を規則正しく摂る」「適度な運動をする」「早寝早起きをする」「タバコは吸わない」「緑茶を飲む」などがあり、「身体の健康が第一」と、つい思われるがちですが、身体の健康を保つためには「心の健康」がまず大切です。

「一怒一老一笑一若」ということわざは、「人の一生は怒れば年老い、笑えば若返る」という意味だそうですが、毎日笑って暮らすことが長生きの秘訣ということなのでしょうね。男性より女性の平均寿命が長いのは女性のほうがよく笑うからという説もあるそうですから。

では皆さん、と一緒に大笑いしてみましょう！

1・2の3、「あーっはっははは」



訪問看護ステーション柳都大橋

羽生 幸子

電話 025-228-5004 FAX 025-228-4000

デイサービスセンター横越

秋といえば、芸術の秋・食欲の秋…ということにちなみまして、落ち葉を利用した制作やおやつフレクリエーションとして、クレープ作りをしました。

制作では、きれいに色づいた葉を思い思いに並べて貼り、いろいろなものにみたてた素敵な作品が出来ました。また、クレープ作りでは、生地の上に生クリーム・チョコ・バナナ・もも・ジャムなど、お客様好みのものを選んで巻きました。出来上がりに満足された



ようで、「美味しいねえ。」と、残さず召し上がっていらっしゃいました。

これからも、季節を感じながら、楽しんでいただけるよう企画していきたいと思います。

デイサービスセンター横越

成田 洋子

電話 025-383-2235 FAX 025-383-2236

デイサービスセンター河渡本町

12月4日、駅南コミュニティセンターより来所して頂きマジックを披露して頂きました。霧囲気のある音楽が流れ、次々とマジックが披露されます。切ったはずのロープがきれていな、筒の中にいれたボールの順番がいつのまにか変わっている等々、目の前で起こるとても不思議な現象にお客様も驚きの表情を見せていらっしゃいました。

そして今回の一番の目玉は鳩が飛び出してくるマジック。箱の中の鳩が消え「あの鳩はどこに行ったの？」のお客様も心配そうなご様子でしたが、



元気な鳩が飛び出すると歓声があがりとても盛り上りました。マジックが終わった後、お客様とマジックに使った道具を見せて頂きましたが、「普通のロープだよね」と種はわからず・・・。

マジシャンの親しみやすいキャラクターとお話もあり、驚きと笑いのある楽しい時間を過ごすことができました。

デイサービスセンター河渡本町

米内山 寛規

電話 025-250-3001 FAX 025-250-3010

伊東先生のコラム 第17回

丸山診療所所長 伊東浩志 先生

何となくボランティアをしてみたい。だけど...如何したらいいんだろう。ボランティアって何だろう。って思っている人は多いでしょう。ボランティアには、本当の意味と「落とし穴」があります。ボランティアには、無償ボランティアと有償ボランティアがあります。有償は文字のごとくお金を貰つてするボランティアです。でも、ボランティアは金銭以上の大きい見返りがあります。まず、①自分の満足感（人の為に尽くしたと云う喜び）②自分のやりがい③（何故か分かりませんが）人にして上げた事は「めぐりめぐって」自分に返ってきます。自分が何かがどうしても必要な時、必ず手が差し伸べられます。これ絶対です。不思議です。

私が、日本横断歩きの旅をしていた時であった人で、たった一人でひたすらゴミ拾いをしていた人が居ました。

私も少し手伝いましたが、心無いドライバーに「偽善者！」といって空き缶を投げつけられました。でも、終了した時の満足感は絶大でしたよ。そして、思いもよらず、開院の時、診療所の周囲のゴミ拾いを誰かがしてくれました。（それが誰だかわかりませんが。。。）業者さんも不思議がって居ました。

ボランティアには適性があることを御存知でしょうか。あまり話しをするのが得意でない人がホスピスボランティアは出来ません。単調な作業が嫌いな人に、お絞りをたたむ仕事は出来ません。これを見極めてくれる人がボランティアコーディネーターです。ボランティアコーディネーターは市の社会福祉協議会・或いは事業体で大規模にボランティア活動をしている場合など配属されていることが多いです。新潟市役所に聞いてみると分かりますよ。

さて、「落とし穴」ですが。。。おおきなボランティアグループになると、いわゆる派閥が出来ていることがあります。新参者は入りにくく、どこかの派閥に所属しないとうまくグループに溶け込めないことがあります。

それでは、会社で働いている時みたいで面白くない。そんなの違うって思ってしまう。

そういう人は、まず、個人の小さなボランティアから始めてみてはいかがでしょうか。

たとえば、コンビニのトイレが汚い時、サッサと掃除して出てくる。公共浴場の風呂桶や椅子が散乱していたらさりげなく整理する。ゴミ拾いをする。なんいかがでしょうか。

自分の体を張ったボランティアもあります。献血です。私は35回していますが、知り合いの看護師（高山さんという人ですが）100回近く献血しています。骨髓バンクも良いでしょう。

ボランティアの意義が分かったところで本当の意味での人対人のボランティアに移行すると良いでしょう。入りやすいところではひまわり号列車という「貸し切り列車を仕立てて、年1回障害者を旅行に連れ出すボランティア」です。誰でも申し込めます。そしてやりがいがある。

必ずしも、誰かと一緒にする必要は無い。心から「人の役に立ちたい」と思った時からボランタリーな精神は目覚め必要な援助が得られるのが普通です。

私も、出来るだけ協力いたします。人の手が無ければ生きていけない人・人の手が無ければ失われる環境・人の手が無ければ忘れ去られるシステム。それは、「人の役に立ちたい」と思う心から始まります



て戦乱を鎮めた故事にちなんだもので、赤・青・黄・緑・黒の鬼たちと三途川婆（そうづかば）

「本成寺節分鬼踊り」

2月3日の節分の日、三条市の本成寺では鬼踊りが行われます。日本三大鬼踊りの一つとされているこの行事は、戦国時代、本成寺の僧兵と農民が協力して戦乱を鎮めた故事にちなんだもので、赤・青・黄・緑・黒の鬼たちと三途川婆（そうづかば）を年男と年女が豆で退散させ、一年の平安を祈るといった行事です。

例年多くの人でぎわうこの行事には、勿論我が子の無病息災を祈る親子連れも多く、私も物心つかない頃に連れて行かれ、大泣きしたそうです。

当日は車の出も多いですが、駐車場からの無料シャトルバスも運行されますので、機会がございましたら是非一度足を運んでみて下さい。

グループホーム三条 難波 淳



必要してくれる人がいるから… 自然と笑顔で働く場所

はあとふるあたごでは、
一緒に働く仲間を募集しています。

募集中のお仕事

介護職員・生活相談員・看護師
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
経験者大歓迎です。

■応募先 希望職種を明記の上、ご応募ください

〒951-8051 新潟市新島町通3ノ町2284番地

（株）はあとふるあたご 採用係

在宅介護の総合サービス

はあとふるあたご

<http://www.heartfull.jp/> TEL 025-228-5000

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

この冬は今のところ雪も少ないようですが、ノロウイルスの流行でなかなか大変だった方も多いことかと存じます。

私もお客様のご健康はもちろんですが、自分の健康にも注意して、今年一年頑張りたいと思います。

本年もどうぞよろしく御願い致します。

＜連絡先＞ グループホーム三条

電話 0256(36)5555 FAX 0256(36)5556

＜編集委員＞

稻野 正晃（デイサービスセンター坂井東）

古野間 信介（総務部）

茅野 弘美（訪問看護ステーション柳都大橋）

阿部 充子（居宅介護支援センター坂井東）

中山 卓（福祉用具センター新発田）

難波 淳（グループホーム三条）